

# 大学生の3割がChatGPTを利用

大森不二雄先生（東北大学高度教養教育・学生支援機構教授）

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。  
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

## (ご紹介)

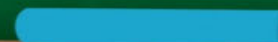


大森不二雄

おおもり ふじお

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授

京都大学文学部卒業後、文部省、在英国大使館、在米国大使館、文部科学省、熊本大学教授、首都大学東京教授などを経て、2016年より現職。専門は高等教育論、教育社会学。学位はPh.D. (ロンドン大学 教育研究所)。



## 「対話型AI 大学生の3割使用」 『朝日新聞』 2023年6月8日掲載

大森先生より

• 次のURLから、調査結果(速報)及び調査票にアクセス及びダウンロードできます。 <https://dber.jp/chatgptsurvey/>

〔参考〕朝日新聞デジタル（有料記事）

<https://digital.asahi.com/articles/ASR675V8MR66USPTO0J.html>

• 研究チームは、おって、調査結果の分析・考察を含む研究論文を刊行すべく、執筆中です。

それではご覧ください

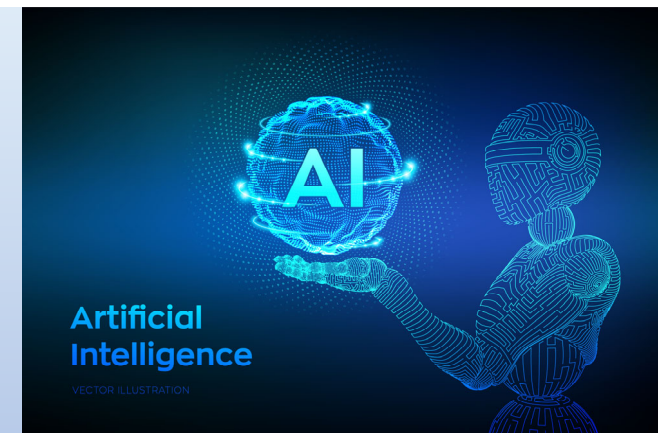
# ChatGPTと教育

～大学生の利用実態から考える～

大森 不二雄

(東北大学 高度教養教育・学生支援機構)

fujio.ohmori.e7@tohoku.ac.jp



*Designed by Freepik*



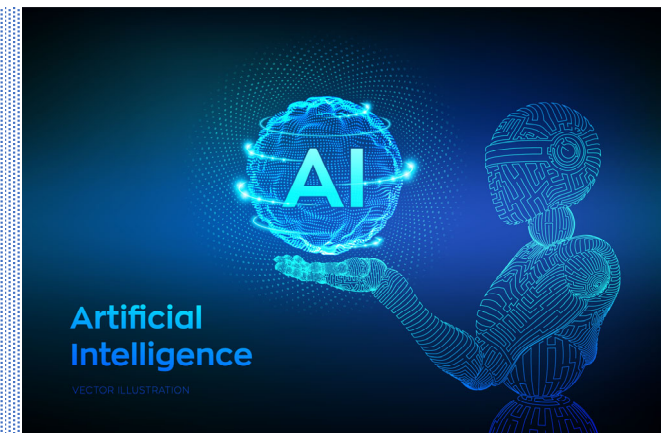
# 研究チーム



Designed by [Freepik](#)

- 調査対象：全国の大学の学士課程の学生（回答者数：4,000人）
- 調査方法：インターネット調査（アンケート形式のWeb調査票に回答）
- 調査期間：2023年5月24日～6月2日

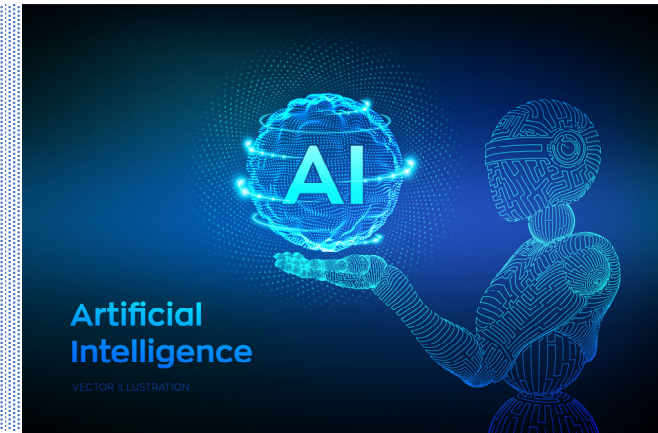
# 研究チーム



*Designed by Freepik*

- 大森 不二雄 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 教授
- 斉藤 準 帯広畜産大学 農学情報基盤センター 准教授
- 松葉 龍一 東京工科大学 先進教育支援センター 教授
- 喜多 敏博 熊本大学 半導体・デジタル研究教育機構 教授

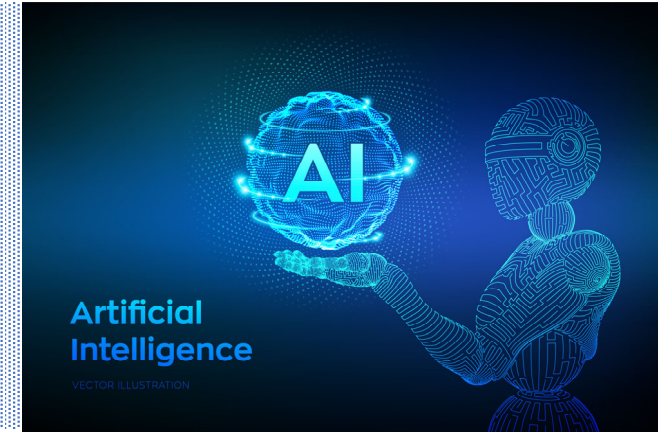
# 研究の背景



- 対話型の生成AI（人工知能）であるChatGPT（チャットGPT）は、2022年11月30日に公開されて以降、2カ月でユーザー数が1億人を突破するなど、これまでに例のないスピードで世界的に普及が進んだ。
- ChatGPTと大学教育をめぐっては、レポートが成績評価に使えなくなるとの危惧、授業・学習における積極的な活用を促す意見など、懸念と期待が混在する現状にあるが、肝心の学生の実態を踏まえないまま、議論が先行している。
- 日本では、大学生のChatGPT使用状況の全国データが見当たらない。
- 海外の先行研究では、文章力や批判的思考力・創造性等への悪影響も論じられているが、特段のエビデンス（科学的根拠）に基づいておらず、学生が自らの能力形成への影響をどう認識しているかのデータも見当たらない。



# 研究の目的



*Designed by Freepik*

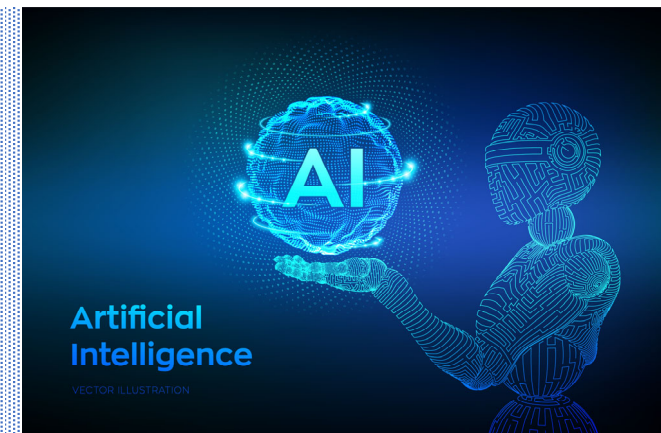
本研究は、日本全国の大学生を対象とする調査により、

- ChatGPTの利用状況 及び
- ChatGPTの利用が自身の能力形成に与える影響に関する認識について実証的な把握を試み、

調査結果の分析・考察を通じ、大学教育におけるChatGPTの取扱いに関する今後の議論に供し得る知見を得ることを目的とする。

## 調査結果のポイント①

# 大学生のChatGPT利用率：32%

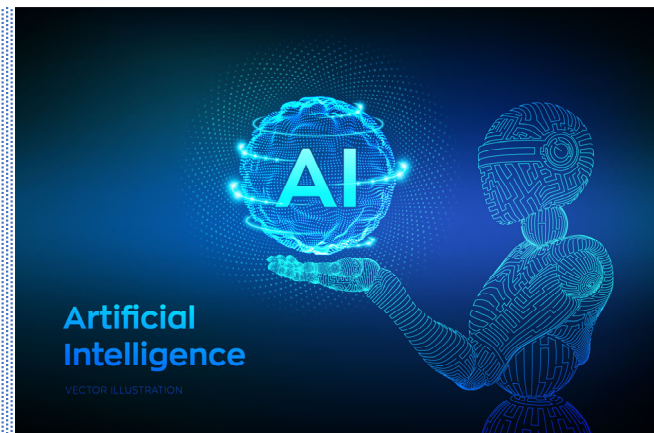


*Designed by Freepik*

- 大学生の32%がChatGPTを使ったことがある
- 男女別に見ると男子学生の利用率が顕著に高い（男44.8%、女27.1%）
- 分野別利用率：人社教33.0%; 理工農45.5%; 医歯薬21.2%; その他30.8%
- 学年による利用状況の差は大きくない  
（1年生35.7%; 2年生32.1%; 3年生33.0%; 4年生又はそれ以上31.7%）

## 調査結果のポイント②

レポート等でのChatGPT利用率：14%



*Designed by Freepik*

大学の授業科目のレポートその他の提出物（予習・復習の提出物を含む）の作成のためにChatGPTを使ったことがある者の割合。分母はChatGPT未利用者を含む。

- 全体：大学生の14.0%（ChatGPT利用者のうちの43.2%）
- 男女別：男子学生の22.7%、女子学生の10.3%
- 学年別：1年生15.8%、2年生17.9%、3年生15.6%、4年生又はそれ以上11.2%
- 分野別：人社教14.5%、理工農20.4%、医歯薬8.5%、その他12.9%

## 調査結果のポイント③

レポート等での利用者の92%が、内容が正しいかどうかを確認し、必要に応じ修正したと回答



*Designed by Freepik*

ChatGPTの作成した文章等の内容が正しいかどうかを確認し、必要に応じ修正したか

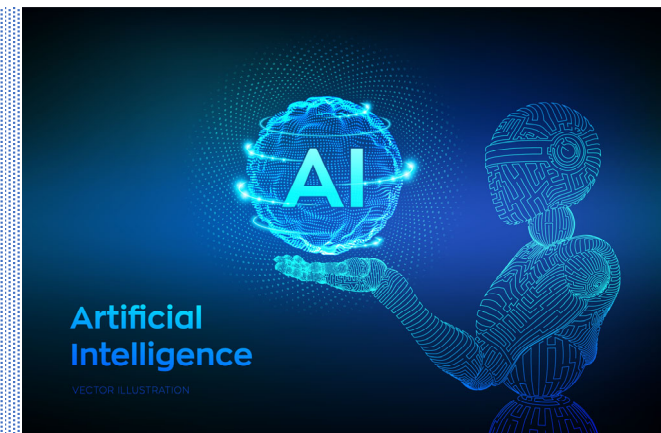
- ① 確認・修正した 64.0%
- ② どちらかといえば確認・修正した 27.7%
- ①+② 計 91.8%
- ③ どちらともいえない 3.4%
- ④ どちらかといえば確認・修正しなかった 2.1%
- ⑤ 確認・修正しなかった 2.7%
- ④+⑤ 計 4.8%

2023年9月14日

Copyright (C) 2023 Fujio Ohmori

## 調査結果のポイント④

レポート等での利用者の85%が、文章等を書きかえたり、新たな文章等を書き加えたりすることによって、自分のアイデアを生かしたと回答



*Designed by Freepik*

ChatGPTの作成した文章等を書きかえたり、新たな文章等を書き加えたりすることによって、自分のアイデアを生かしたか

- ① 自分のアイデアを生かした 45.8%
- ② どちらかといえば自分のアイデアを生かした 39.5%
- ①+② 計 85.3%
- ③ どちらともいえない 6.6%
- ④ どちらかといえば自分のアイデアを生かさなかった 6.4%
- ⑤ 自分のアイデアを生かさなかった 1.6%
- ④+⑤ 計 8.1%

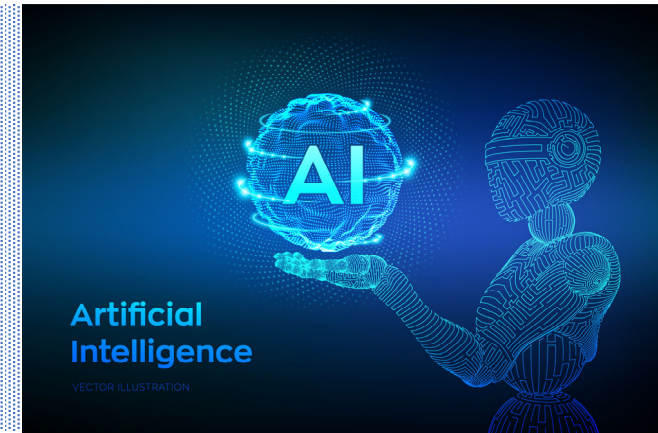
2023年9月14日

Copyright (C) 2023 Fujio Ohmori



## 調査結果のポイント⑤

レポート等での利用者の77%が自分の文章力の向上にプラスだと思いと回答



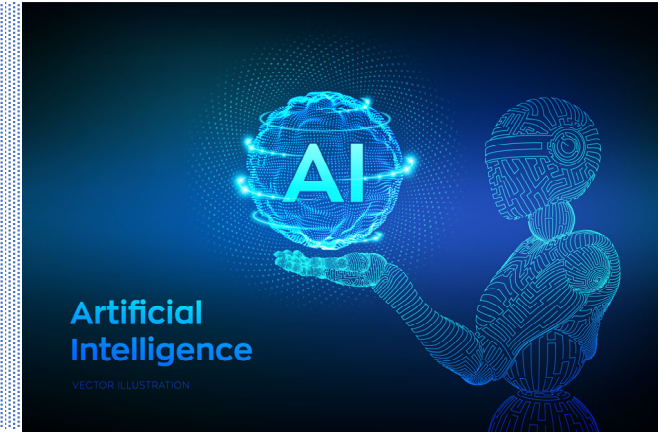
*Designed by Freepik*

レポート等の作成のためにChatGPTを使うことは、自分の文章力の向上にプラスだと思うか、マイナスだと思うか

- ① プラスだと思う 41.7%
- ② どちらかといえばプラスだと思う 35.8%
- ①+② 計 77.5%
- ③ どちらともいえない 12.3%
- ④ どちらかといえばマイナスだと思う 7.7%
- ⑤ マイナスだと思う 2.5%
- ④+⑤ 計 10.2%

## 調査結果のポイント⑥

レポート等での利用者の71%が自分の思考力の向上にプラスだと思いと回答



*Designed by Freepik*

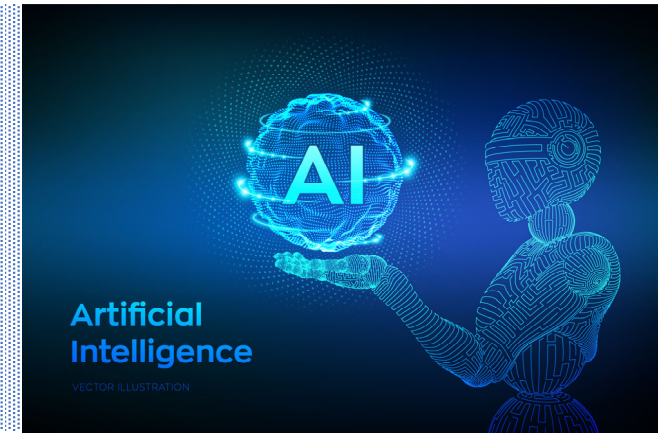
レポート等の作成のためにChatGPTを使うことは、自分の考える力の向上にプラスだと思うか、マイナスだと思うか

- ① プラスだと思う 31.5%
- ② どちらかといえばプラスだと思う 39.2%
- ①+② 計 70.7%
- ③ どちらともいえない 14.0%
- ④ どちらかといえばマイナスだと思う 11.6%
- ⑤ マイナスだと思う 3.8%
- ④+⑤ 計 15.4%

## 調査結果のポイント⑦

### ChatGPT利用経験があるにもかかわらず、 レポート等では利用していない理由

(ChatGPT利用者のうちレポート等では利用していない者は56.8%)



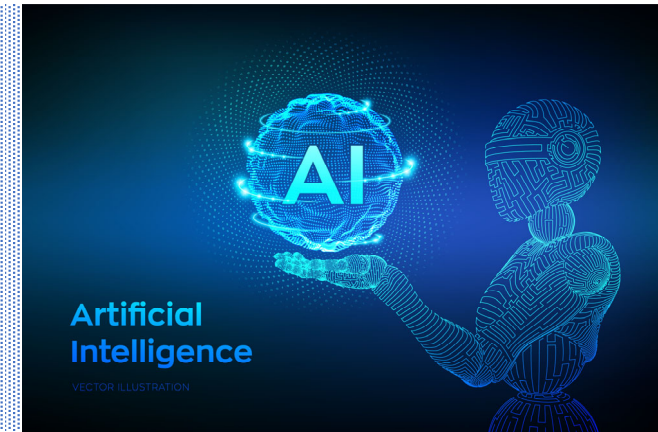
*Designed by Freepik*

レポートその他の提出物の作成のためにChatGPTを使ったことがない最大の理由は何か

- 自分が考えて書いたことにならないから 28.4%
- ChatGPTの作成する文章等には内容に誤りがある場合があるから 24.7%
- 自分で作成した方が出来ばえが良いと思うから 9.1%
- ChatGPTで作成したことがばれてしまう可能性があるから 18.3%
- ChatGPTを使うのが面倒だから 7.1%
- レポートその他の提出物を作成しなければならない機会がなかったから 9.9%
- その他 2.4%

## 調査結果のポイント⑧

### 日常的な学習でのChatGPT利用率：20%



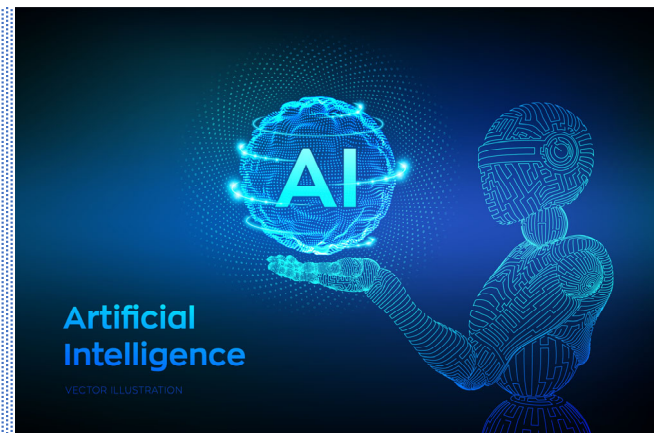
*Designed by Freepik*

日常的な学習（レポート等の作成は含まない）のためにChatGPTを使ったことがある者の割合。分母はChatGPT未利用者を含む。

- 全体：20.1% （ChatGPT利用者のうちの61.9%）
- 男女別：男子 31.6%; 女子 15.2%
- 学年別：1年生 18.8%; 2年生 20.8%; 3年生 19.7%; 4年生又はそれ以上 20.1%
- 分野別：人社教 20.1%; 理工農 33.5%; 医歯薬 10.7%; その他 17.4%

## 調査結果のポイント⑨

日常学習での利用者の91%が、知識を増やしたり、  
学びを深めたりする上で、プラスだと思いと回答



*Designed by Freepik*

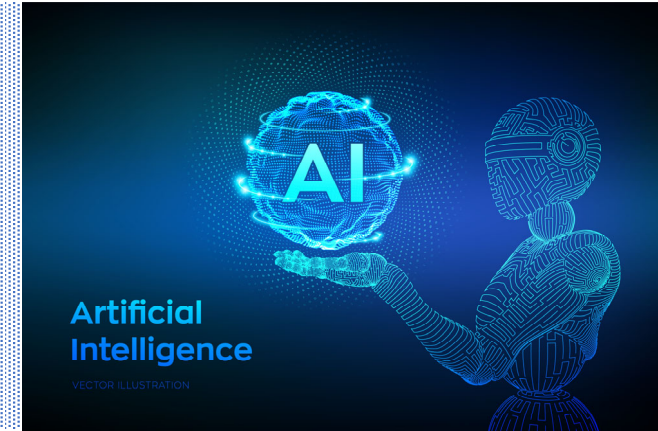
日常的な学習のためにChatGPTを使うことは、知識を増やしたり、  
学びを深めたりするうえで、プラスだと思うか、マイナスだと思うか

- ① プラスだと思う 52.2%
- ② どちらかといえばプラスだと思う 39.0%
- ①+② 計 91.3%
- ③ どちらともいえない 7.0%
- ④ どちらかといえばマイナスだと思う 1.6%
- ⑤ マイナスだと思う 0.1%
- ④+⑤ 計 1.7%



## 調査結果のポイント⑩

### レポート等と日常的な学習の 利用者の重なり具合

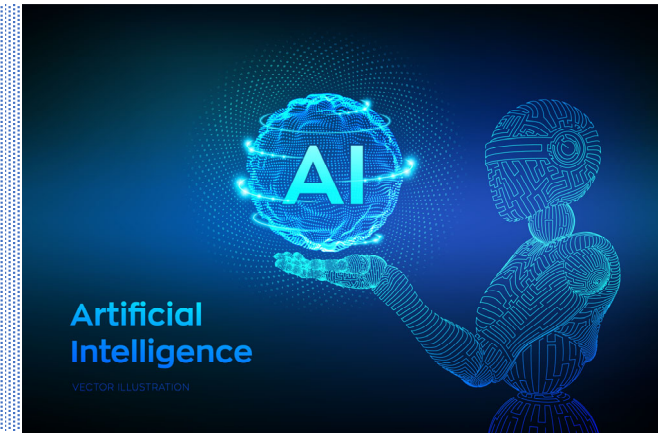


*Designed by Freepik*

#### ChatGPT利用者の内訳

- レポート等と日常的な学習の両方で利用 31.7%
- レポート等で利用しているが、日常的な学習では利用していない 11.4%
- 日常的な学習では利用しているが、レポート等では利用していない 30.2%
- いずれの目的にも利用していない（これら以外の目的のみで利用） 26.6%

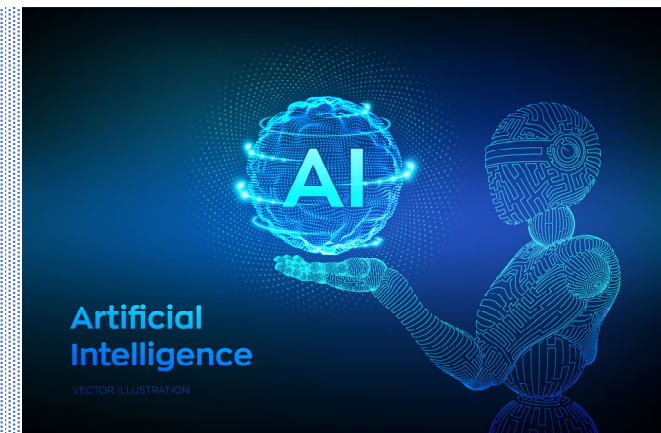
# 調査結果からの示唆 (暫定的な考察)



*Designed by Freepik*

- ChatGPTをレポート等で利用したことのある大学生の圧倒的多数は
  - 批判的思考や創造性を阻害しない使い方をしている(確認92%、加筆85%)と認識
  - 自身の文章力・思考力の向上に役立つ(77%・71%)と肯定的に評価
- 他方で、ChatGPT利用経験者の57%はレポート等で利用しておらず、その理由として「自分が考えて書いたことにならないから」(28%)や「内容に誤りがある場合があるから」(25%)が多くを占め、「日常的な学習では利用しているが、レポート等では利用していない」者がChatGPT利用者の30%に上るなど、大学の注意喚起等で慎重になっている者も少なくないことが窺える。
- 大学や教員の側の視点だけではなく、学生の利用実態や意見を踏まえた検討の必要性や、教育への積極活用の可能性を示唆する結果が得られた。

# この調査に関する詳細は・・・

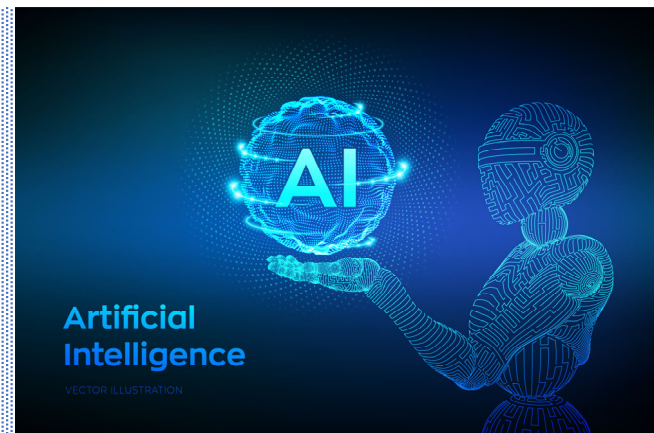


*Designed by Freepik*

- 次のURLから、調査結果(速報)及び調査票にアクセス及びダウンロードできます。 <https://dber.jp/chatgptsurvey/>
- 〔参考〕朝日新聞デジタル（有料記事）  
<https://digital.asahi.com/articles/ASR675V8MR66USPT00J.html>
- 研究チームは、おって、調査結果の分析・考察を含む研究論文を刊行すべく、執筆中です。

## 【私見】

# 読解力・文章力の向上に積極活用を ～大学教育の課題に照らして～



『AERA』 2023年7月10日号より抜粋 (<https://dot.asahi.com/articles/-/194802?page=2>) : *Designed by Freepik*

「日本のほとんどの大学では学生の文章力と、それに必要な思考力を鍛えるための授業が十分な現実があります。その点、チャットGPTから生成される文章は、論旨が明快でバランスが取れ、非常に優れている。これは間違いなく言えることです」

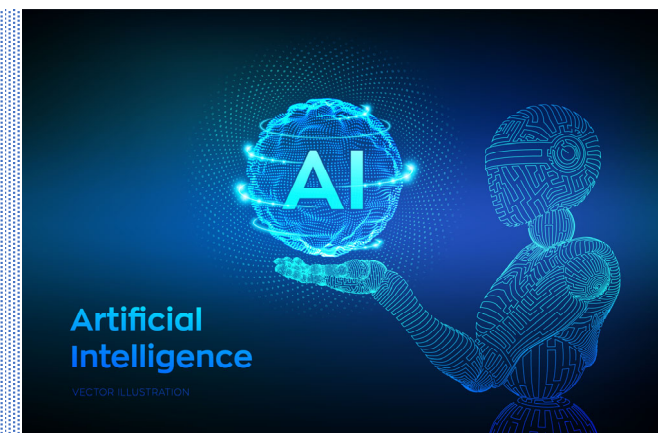
学生がそれを漫然としか読まずコピーし、レポートとして提出するのは論外だ。しかし、チャットGPTの優れた文章を読み込み、自分のアイデアや考えを書き足し、修正しながら吟味するプロセスをきちんと踏みさえすれば、「いい文章とは何か」ということがわかってくるはずだ。そう大森さんは話す。

「これからのテクノロジー社会に学生が適応するためというよりも、学生の言語能力と思考力を鍛えられるツール。その視点が最重要だと思います」

**Bill Gates:** AI chatbots are on track to help children learn to read and hone their writing skills in 18 months time. (<https://www.cnbc.com/2023/04/22/bill-gates-ai-chatbots-will-teach-kids-how-to-read-within-18-months.html>)

## 【私見】

# 読解力・文章力の向上に積極活用を ～中学・高校にも共通する課題～



*Designed by Freepik*

- 文科省の初等中等教育向けガイドラインは、情報教育の側面を重視  
[https://www.mext.go.jp/content/20230704-mxt\\_shuukyo02-000003278\\_003.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230704-mxt_shuukyo02-000003278_003.pdf)
- 文科省の大学・高専向け通知も、ライティング教育等に触れていない  
[https://www.mext.go.jp/content/20230714-mxt\\_senmon01-000030762\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230714-mxt_senmon01-000030762_1.pdf)
- 「川島教授によると、フェイスブックの長い文章を読めない人が増えているようで、LINEやツイッター上の2～3語で構成される文でなければ読むのがつらいのだという。」 出典：『週刊朝日』2018年6月22日号より <https://dot.asahi.com/articles/-/114720?page=2>
- スマホによるネット利用時間(平日)：中学生164.9分; 高校生226.7分  
出典：『令和4年度 青少年のインターネット利用環境実態調査』  
[https://www8.cao.go.jp/youth/kankyou/internet\\_torikumi/tyousa/r04/jittai-html/index.html](https://www8.cao.go.jp/youth/kankyou/internet_torikumi/tyousa/r04/jittai-html/index.html)